

「令和7年度金沢大学がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」
を開催

令和8年2月10日

令和8年2月10日（火）、共同利用・共同研究拠点事業の一環として「令和7年度金沢大学がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」を開催しました。報告会は、中村 慎一（金沢大学理事（研究・社会共創・大学院支援担当）の挨拶に始まり、今年度に当研究所との共同研究課題として採択された 57 課題の中から 10 課題の研究代表者、坪田 庄真先生（名古屋大学 大学院医学系研究科）、室 龍之介先生（東京理科大学 生命医科学研究所）、柴 綾先生（筑波大学医学医療系）、田中 美和先生（がん研究会 がん研究所 がんエビゲノム研究部）、松田 史生先生（大阪大学大学院情報科学研究科）、笠原 敦子先生（東北大学大学院生命科学研究科）、山本 雄介先生（国立がん研究センター研究所 病態情報学ユニット）、飯間 麻美先生（名古屋大学大学院医学系研究科）、劉 學瑩先生（川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター）、園下 将大先生（北海道大学 遺伝子病制御研究所）による研究成果報告が行われました。報告会には、学内外の研究者並びに大学院生ら約 100 人が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。今回の成果報告会での交流が、今後のがん研究のさらなる発展につながることが期待されます。



開会挨拶 中村 慎一 理事



進行 平尾 敦 教授

【共同研究成果報告 1】



座長 中山 瑞穂 准教授



名古屋大学 坪田 庄真 先生



東京理科大学 室 龍之介 先生



筑波大学 柴 綾 先生



(公財) がん研究会 田中 美和 先生



大阪大学 松田 史生 先生

【共同研究成果報告 1】



座長 本宮 綱記 准教授



東北大学 笠原 敦子 先生



国立がん研究センター研究所 山本 雄介 先生



名古屋大学 飯間 麻美 先生



(公財)川崎市産業振興財団 刘 學瑩 先生



北海道大学 園下 将大 先生



閉会挨拶 鈴木 健之 所長



全体写真

共同利用・共同研究成果報告会

13:00 開会のあいさつ 中村 慎一 (理事・研究・社会共創・大学院支援担当)・副学長

共同研究成果報告1

13:10

小児がん神経芽腫における自然退縮機構の解明

坪田 庄真 (名古屋大学 大学院医学系研究科 助教)

13:30

mRNA-LNP型がんワクチンの機能検証とT細胞動態の解析

室 龍之介 (東京理科大学 生命医科学研究所 助教)

13:50

TTF-1陰性非小細胞肺癌における代謝脆弱性とゲノム不安定性のクロストーク

柴 綾 (筑波大学 医学医療系診断病理学 准教授)

14:10

希少がんのエンハンサー異常を標的とするエピゲノム編集治療の開発

田中 美和 ((公財)がん研究会 がん研究所がんエピゲノム研究部 主任研究員)

14:30

ノンターゲットリピドミクスを用いた乳がん細胞株のサブタイプ間比較解析

松田 史生 (大阪大学 大学院情報科学研究所 教授)

14:50 休憩

共同研究成果報告2

15:10

オルガネラ接点と細胞運命決定制御メカニズム

笠原 敦子 (東北大学 大学院生命科学研究科 助教)

15:30

1細胞発現解析による肺がん微小環境の指向性の解明

山本 雄介 (国立がん研究センター研究所 病態情報学ユニット 独立ユニット長)

15:50

乳がん移植モデルにおける拡散MRIパラメータと組織病理学的特性の相関

飯間 麻美 (名古屋大学 大学院医学系研究科 特任教授)

16:10

腫瘍へのactive targetingを目的としたリガンド化PRDM14 siRNA/YBC (uPIC) による卵巣癌・腹膜播種に対する精密RNAi治療

劉 學瑩 (公益財団法人 川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター 主任研究員)

16:30

膵がんと腸内細菌叢との関わりの解明

園下 将大 (北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授)

16:50 閉会のあいさつ 鈴木 健之 (金沢大学がん進展制御研究所・所長)

17:20 研究交流会 会場: YABU&CAFE丹 (自然科学系図書館南福利施設2F)

2026.2.10 [火]

開催時間 13:00-17:00 (受付 12:30)

会場

金沢大学ナノ生命科学研究所
4階 Main Conference Room
(住所:石川県金沢市角間町)

